機能材料事業

油脂を原料とする誘導体を基幹製品とする油化事業と、石油化学品を基幹製品とする化成事業が統合した事業部です。幅広い素材と技術で多様な業界に貢献します。





主な用途



事業の強み

- 脂肪酸誘導体を中心に多様な業界をカバー
- 化粧品原料では国内トップクラスの品揃え
- 電子部品の小型化にも高度な技術で対応
- 樹脂メーカーと共同で高機能製品を開発
- 合成・精製・配合などの確かな技術力
- 海外比率を高め、グローバル展開を推進

事業の見通し（リスク・機会）

- 技術革新による既存市場の縮小
- 法規制の厳格化による既存市場の縮小
- 地政学的リスクに伴う市場変化
- 新興国の成長による市場の拡大
- 先端技術の拡大によるビジネスチャンス
- 法規制拡大による環境対応需要の増加

成長戦略

POINT

新規分野の開拓と事業領域の拡大

「ライフ・ヘルスケア」「環境・エネルギー」「電子・情報」の3分野において、それぞれの成長分野（メイク用原料、環境対応油剤・添加剤、半導体等高機能電子材料用素材）で事業拡大を目指します。また、現在は大きく事業展開していない先端分野にも、独自技術と幅広い営業分野を活用して参入を図っていきます。

POINT

海外成長市場での拡販

新興国での新規需要創出を捉え、事業拡大を目指しています。2026年にはインド法人を設立し、業容拡大への体制を整えました。化粧品原料や電子・情報材料では、その他のアジア地域への営業活動も推進します。特に化粧品原料は、欧米の多国籍企業が新興国での展開を加速しています。日油も積極的な設備投資を行い、競争力を高めます。

POINT

既存事業の再構築

脂肪酸や脂肪酸誘導体、有機過酸化物、石油化学品、機能性ポリマーといった既存分野での効率向上・生産の最適化を進めます。既存分野の構造改革によって盤石な事業基盤を改めて構築するとともに、新規・成長市場へと経営資源を集中させることで、社会や顧客の課題解決に貢献する高付加価値製品の拡大を目指します。

TOPIC

目指す3分野での取り組み

ライフ・ヘルスケア分野では、引き続き化粧品原料とODM製品の両輪でサイクルを回し、好循環を生み出しています。環境・エネルギー分野では、異音防止剤（機能性添加剤）の採用が拡大しています。外部音だけでなく車内の部品の擦れによる軋み音を低減できる製品が好調です。電子・情報分野では、積層セラミックコンデンサの微粒子分散剤をはじめとする用途拡大を図っています。

